



# デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.31

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2004.秋

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

## 第23回企画展「オランウータンの森 - 東南アジアの熱帯雨林を探る - 」

開催期間 平成16年10月2日(土)～11月28日(日)



サラノキ属の一種(フタバガキ科)の開花 撮影 井上民二



ドリアンを食べるオランウータン 撮影 井上民二



板根



キャノピーウォークウェイ

東南アジアの赤道域に残るフタバガキの森では、樹高70mにおよぶ突出木や、巨大な板根に目を奪われます。ラフレシアやウツボカズラなど、奇妙な植物も見ることができます。そこには、オランウータンをはじめとする多種多様な動物も生息し、植物と密接な関係を持って生活しています。

今回の企画展では、花粉や種子の運搬に代表される植物と動物のつながりを中心に熱帯雨林の様々な生き物を紹介します。また、展示室に熱帯雨林の林冠にかかる吊橋「キャノピーウォークウェイ」や板根を再現し、実際の森の中を歩いているような雰囲気演出します。

企画展記念講演会

### 「極楽鳥の島」

－ウォーレスの足跡を訪ねて－

日時：平成16年10月3日(日) 午後1時30分より

講師：新妻昭夫(恵泉女学園大学人間環境学科教授)

内容：ウォーレスのマレー諸島探検の足跡をたどりながら、ウォーレスと彼の進化論へひらめきを与えたアルー諸島を、当時と同じ伝統的な極楽鳥狩りや剥製づくり、交易の様子などの映像を用いながら紹介します。

(学芸グループ 綿貫 攻)

# すげの会第15回全国大会と自然史博物館

平成16年6月5・6日にすげの会第15回全国大会が本県で開催され、6月5日には当館において総会・研究大会、標本同定会が行われました。

## すげの会ってどんな会？

すげの会（会長：星野卓二岡山理科大教授・会員約250名）は、カヤツリグサ科植物の分類や形態、生態の研究を目的とした会で、プロの研究者のとアマチュアの方々が盛んに交流しています。

## カヤツリグサ科ってどんな植物？

皆様はカヤツリグサ科からどんなイメージが浮かびますか？雑草のカヤツリグサやホタルイ類、菅笠で有名なスゲ属、生花に使うフトイ、古代の製紙材料パピルスに湿原を彩るワタスゲ。どれも目だった存在ではない上に分類が難しいイメージがあるかも知れません。カヤツリグサ科は群馬県だけで200種類以上、世界では3500種を超え、単子葉植物の中ではイネ科やユリ科、ラン科と並ぶ一大勢力なのです。



カヤツリグサ科  
スゲ属の例：  
オクノカンスゲ  
(筆者撮影  
：宮城県鳴子町)

## すげの会第15回全国大会の概要

今回の大会では、北は北海道から西は広島県まで50名の参加者がありました。また、カナダ・マックギル大学からウォーターウェイ教授を招いての大会となりました。

当館で開催された研究大会では、分類学や生態学のほか、観察記録法に関する6題の発表が行われました。

また、6日は安中市の碓氷川と、松井田町八風平でエクスカーション（野外調査会）が行われ、特に遠方の方は、初めて見る植物に満足されていました。



すげの会全国大会エクスカーション

## 開催記念展示

すげの会第15回全国大会期間中、博物館エントランスにおいて、すげの会全国大会と群馬のカヤツリグサ科を紹介する展示を行いました。また、標本同定会の間、タタラカンガレイやアサマスゲなどの群馬のカヤツリグサ科の希少種の標本を会員向けに公開しました。



タタラカンガレイ：  
館林市多々良沼で発見  
・命名されました。  
本県では邑楽・館林地域の  
湿地に分布します。

## 最後に

地味で難しいイメージからカヤツリグサ科などの植物は敬遠されることが多いようです。しかし、このような仲間こそアマチュアの方の活躍の場が広いといえます。昨年は鳥取でアマチュアの方が新種を発見され記載されるなど、身近なところにも大発見のものが隠れています。

(学芸グループ 大森威宏)

# 大好評の移動博物館！

6月1日(火)～3日(木)、群馬県立太田高等養護学校を会場に移動博物館を開催しました。今年度から展示構成を富岡市の自然史博物館(本館)と同じにし、A～Eコーナーに分け、展示を行いました。

今回から「校庭の植物」をテーマに、「ドングリのなる木」を新しく展示資料に加え、様々な時代の化石、動物のはく製、利根川の魚、クイズ展示、環境展示等、140点以上の資料を展示しました。触れる化石やはく製、鉱物の不思議実験、恐竜、博物館クイズは毎回大好評です。

毎年6月下旬に県内学校や公民館に共催案内を配布しています。みなさんの学校や公民館も、移動博物館を自然史博物館と共同開催してみませんか！

(総務普及グループ 野口喜充)



## 館内授業のご案内

当館の学校連携に関連した事業の一つに、館内授業があります。館内授業は、実験室で1時間程度の体験活動を行うものです。館内授業を利用できる団体は、3時間半程度滞在できる学校で、学年は小学校4年生以上です。1日に2コマ(2学級)まで実施できます。また、下見を行い、晴雨に関係なく来館される学校に限ります。県内の学校の積極的なご利用をお待ちしています。



### (体験学習のメニュー)

化石のレプリカづくり：石膏を用いて、アンモナイト等のレプリカをつくります。

飛ぶタネの模型をつくらう：カエデ・アルソミトラ等の飛ぶタネの模型をつくります。

葉のパウチ標本をつくらう：館周辺のカエデ等の葉を採取し、パウチを利用した標本をつくります。

植物化石をさがそう：栃木県塩原町産の「木の葉石」から植物化石を取り出す活動を行います。

本メニューのみ有料(材料費580円)

(総務普及グループ 金澤芳彦)

ベルセオレガメはアフリカ大陸中央部から南部にかけての熱帯雨林地域およびサバンナ地域の広い範囲に生息しています。また、マダガスカルでは北西部のサンピラヌ湿潤林にのみ生息しています。最大甲長は約30cmで、色や形など地域変異が多く、亜種も確認されています。英名では「ヒンジバクトータス」(hinge-back tortoises)と言います。ヒンジとは蝶番、トータスとはリクガメのことですので、直訳すると「背甲に蝶番を持ったリクガメ」という意味になります。蝶番は背甲後部にあり、それにより後部を動かすことができます。



ベルセオレガメをはじめ、全てのリクガメはワシントン条約(CITES)付属書(ガラパゴスゾウガメ等

は付属書)に掲載されている非常に貴重な動物です。(学芸グループ 須田 透)

## インフォメーション(10月~12月の予定)

第23回企画展「オランウータンの森 - 東南アジアの熱帯雨林を探る - 」  
10月2日(土)~11月28日(日)

**10月** 3日(日) 企画展記念講演会「極楽鳥 - ウォーレスの足跡を訪ねて - 」  
6日(水)~7日(木) 移動博物館(会場:吾妻町立太田小学校)  
28日(木) 県民の日(無料公開)  
31日(日) 企画展記念講演会「熱帯雨林のしくみ」  
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「もみじ平公園でモミジの観察会」

**11月** 7日(日) 自然史講座「きのこいろいろ」  
10日(水)~11日(木) 移動博物館(会場:高山村立高山小学校)  
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「岩石や鉱物の不思議実験」

**12月** 4日(土) 天体観望会「秋の星座」  
26日(日)~28日(火) メンテナンス休館日  
29日(水)~2005年1月3日(月) 年末年始休館日  
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「岩絵の具でクリスマスカードや年賀状をかこう」

### 利用案内

**開館時間** 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:30まで)  
**休館日** 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日、ただし10月18日は開館)  
**観覧料** 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)  
10月2日~11月28日の企画展開催中は、一般700円(560円)、400円(320円)  
中学生以下・障害者手帳をお持ちの方及びその介護者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

### 凡例

- 実験室行事
- 天体観望会
- ファミリー自然観察会
- 自然史講座などの学習室行事
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み

### 休館日

○印の日は休館いたします。

|            |   |
|------------|---|
| <b>10月</b> | 日 月 火 水 木 金 土   |
|            | ・ ・ ・ ・ ・ 1 2   |
|            | 3 ④ 5 6 7 8 9   |
|            | 10 11 ⑫ 13 14 15 16<br>17 18 19 20 21 22 23<br>24 ⑳ 25 26 27 28 29 30<br>31 |

|            |  |
|------------|--|
| <b>11月</b> | 日 月 火 水 木 金 土  |
|            | ・ ① 2 3 4 5 6  |
|            | 7 ⑧ 9 10 11 12 13<br>14 ⑮ 16 17 18 19 20<br>21 ⑳ 23 24 25 26 27<br>28 ⑳ 30 ・ ・ ・ ・ |

|            |  |
|------------|--|
| <b>12月</b> | 日 月 火 水 木 金 土  |
|            | ・ ・ ・ ・ 1 2 3 4  |
|            | 5 ⑥ 7 8 9 10 11<br>12 ⑬ 14 15 16 17 18<br>19 ⑳ 21 22 23 24 25<br>⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ |